



Ver. 3
背もたれ部に
クッション推奨

Ver. 2

Ver. 1

使用法三例

京都府内産材を使って現代和風の椅子を考えました。

脚と座面は、杉合板から切り出した材をヤットコ状に組んだユニットからなる。

ユニットの開き角を決めるストッパーのダボには、軟質のゴムを厚く皮膜することで、座り心地に寄与する。

ユニットが独立懸架ゆえ、背もたれを作ることにもできる(左絵参照)。

北山丸太の肘置きは、触れる心地よさを利用者に与えてくれると共に、機能的には腰を下ろす時、又は立上り時の支えになる。

そして、肘置きを取外すことで畳んだりスタッキングすることもできる。

作品名 『KI座』